

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あおきの里

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 8 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議への参加委員が、だんだん少なくなり、内容も行政とのやり取りが多く、参加委員を増員し、介護に関する事だけではなく、地域の困っている問題を行政や参加委員と話し合い、解決に向けて取り組んでいく。	有識者、知見者、近隣住民の中から、参加委員を募り、ホームの運営や地域の課題に協力して取り組み、ホームの運営だけではなく、参加委員が見聞を広め、知識を吸収し、委員にとっても充実した会議にしていく。	12ヶ月
2	38	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	利用者の認知症が進んで、自分の意志で行動できなくなっても、利用者の思いや意向を尊重し、「自分がされたら嫌だな」と思うことを、利用者にもしないケアの実践に取り組んでいく。	利用者のプライドや羞恥心に配慮し、トイレでの排泄の方法や、トイレ環境を見直し、利用者のプライバシーを確保した介護サービスの提供を目指していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。